

令和 6 年度 看護部目標

「変化を『機会』『経験』と捉えて、共に成長しあえる看護部組織」

移転後 2 年が経ち、その間さまざまな状況に対して、看護部は協力しあい変化に適応してきました。地域包括ケアシステムは 2040 年を見据えて「多元的な社会に転換していくなかで、地域共生社会を実現する-あらゆる人々が“地域で共に生きる社会の実現”=地域共生社会」として、個人または地域のそれぞれの実情にあったケアとサービスを各地域でデザインしていくことが求められました。

このように、医療・看護を取り巻く環境は目まぐるしく変化していきます。

北部医療センター安佐市民病院は、地域完結型の医療を提供するため、高度急性期医療の提供と、その後の生活の場を見据えて『外来-病棟-地域をつなぐケア移行』を実践すること、そのためには地域との連携を強化していくことが重要です。

看護は生活の質を考え、「生活者としての患者」を「治療」と「生活」の側面から支援を行うことが求められます。

これまで、私たち看護部は新型コロナウイルス感染症や移転などの変化を『機会』『経験』ととらえて、成長してきました。皆さんひとり一人が『経験』から得られる『学び』や『チカラ』を積み重ねることによって成長し、さらに共に成長しあうことで、必要な看護が提供できていると思います。

これからも、変化を『機会』『経験』ととらえて、共に成長しあい、看護が実践できることを目標として取り組んでいきます。

1. 看護提供体制の構築
病棟機能に適応し、安全で質の高い看護ケアが提供できる体制
2. 入退院支援体制の構築
PFM の強化 適切な入院期間の中で必要な患者ケアが提供できる 円滑なケア移行の実践
3. 外来看護体制
複数の疾患を有する患者の療養支援ができる
4. 病院機能評価受審

『看護のココロ』と『看護のチカラ』そして、皆さんと共に。